

ある時^{とき}

木蓮^{もくれん}の花^{はな}が

ぽたりとおちた

まあ

なんという

明^{あか}るい大^{おお}きな音^{おと}だっ
たらう

さようなら

さようなら

ちようちよう

蝶々

青空^{あおぞら}たかく

山村暮鳥^{やまむらぼちよう}

たかく

どこまでも、どこまでも

舞^まいあがっていった蝶々^{ちようちよう}

あ^{ふた}の二つの蝶々^{ちようちよう}

あれつきり

もうかえって
は来^こなかつたか